

第 1 回 通常 総会 議案 書
岩手県消費者信用生活協同組合

第 1 回 通常 総会 議案 書

と き 昭和45年5月30日 午後1時より

ところ 盛岡市つなぎ温泉「三 春」

第 1 回 通 常 総 会 議 事 次 第

- (1) 開 会 の こ と ば
- (2) 資 格 確 認 並 成 立 宣 言
- (3) 議 長 選 出
- (4) 書 記 並 議 事 録 署 名 委 嘱
- (5) 理 事 長 挨 拶
- (6) 来 賓 祝 辞
- (7) 議 事
 - 第 1 号 議 案 昭 和 4 4 年 度 事 業 状 況 報 告 並 決 算 報 告 承 認 の 件
 - 第 2 号 議 案 昭 和 4 5 年 度 事 業 計 画 並 収 支 予 算 案 承 認 の 件
 - 第 3 号 議 案 貸 付 業 務 方 法 一 部 変 更 承 認 の 件
 - 第 4 号 議 案 岩 手 県 労 働 金 庫 加 入 手 続 承 認 の 件
 - 第 5 号 議 案 借 入 金 の 最 高 限 度 並 び に 借 入 先 承 認 の 件
 - 第 6 号 議 案 役 員 改 選 の 件
- (8) 閉 会 の こ と ば

第 1 号 議 案

昭和 4 4 年 度 事 業 状 況 報 告 並 び に 決 算 報 告

事 業 報 告

大型消費時代を背景にした消費者金融事情は生活環境の改善や月賦利用、レジャー利用等の費用の増加で推移しています。

当信用生協も昭和44年8月22日認可となり昭和44年11月オープンし今期決算を迎えることになりました。オープン以来5ヶ月間、金融引締政策下にあつても地味ではありますが着実に組合員の獲得に成果を上げてまいりました。本年度は特に業務開始年度でもありますので主として宣伝的業務（PR作戦）を中心として伸長を目論んできました。盛岡市内を中心としたチラシまき、新聞広告、ダイレクトメール、などの方法により宣伝効果をあげ、又、貸付は、1,695万円（計画対比168%）となり、その結果収益においても、127万円（計画対比77.4%）となりました。

期末組合員数は408名となり、組合員出資金は540口、270,000円となりました。

以上、初年度としてはほぼ順調な進展をみる事ができました。

1、組合員及び出資口数異動状況

区 分	当 期 加 入		中 途 脱 退		当 期 末 残 高		総 額
	組 合 員	出 資 口 数	組 合 員	出 資 口 数	組 合 員	出 資 口 数	
44年11月							
45年3月	409	550	1	10	408	540	270,000

2、借入又は償還した金額及び借入金利率

区 分	本 期 借 入 高	本 期 返 済 高	本 期 末 残 高	利 率
借 入 金	51,000,000	32,000,000	19,000,000	日歩2銭

3、月別貸付実績

区分 月別	貸付金		受入金	残高	平均残高
	件数	金額			
44年 11月	7	430,000	2,500	427,500	16,511,260
12月	74	18,912,848	10,900	19,329,448	
45年 1月	44	3,787,700	1,891,622	21,225,526	
2月	48	7,103,320	3,705,626	24,623,220	
3月	19	5,500,600	13,173,170	16,950,650	
合計	192	35,734,468	18,783,818		

4、種目別貸付実績

区分 種目別	貸付金		受入金	残高	平均残高
	件数	金額			
無担保	63	3,687,600	1,000,570	2,686,030	2,427,566
有価証券担保	107	21,204,868	17,031,248	4,173,620	9,585,702
不動産担保	22	10,842,000	751,000	10,091,000	4,148,000
事業所保証 信用貸付	0	0	0	0	0
合計	192	35,734,468	18,783,818	16,950,650	

5、貸借対照表

昭和45年3月31日現在

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現金預金勘定	2,832,335	借入金勘定	19,000,000
現 金	101,747	借 入 金	19,000,000
普通預金	2,728,856	雑勘定	334,146
当座預金	1,732	未経過受取利息	282,646
貸付金勘定	16,950,650	未 払 金	51,500
無 担 保	2,686,030	貸倒引当金	254,259
有価証券担保	4,173,620	会 員 勘 定	270,000
不動産担保	10,091,000	組合員出資金	270,000
出資金勘定	10,000	当期欠損金	△65,420
関係団体出資金	10,000		
合 計	19,792,985	合 計	19,792,985

6、損益計算書

自 昭和44年9月2日

至 昭和45年3月31日

損 失		利 益	
科 目	金 額	科 目	金 額
支払利息	455,500	貸付受取利息	1,278,532
人件費	476,347	受取利息	13,159
物件費	191,770	雑収入	20,765
貸倒引当金繰入	254,259	当期欠損金	△65,420
合 計	1,377,876	合 計	1,377,876

經 費 明 細 書

昭和45年3月31日

人 件 費		476,347
役 員 報 酬		
職 員 給 料	248,865	
職 員 諸 手 当	172,974	
雜 給	24,381	
厚 生 福 利 費	6,900	
法 定 福 利 費	23,227	
退職給与引当金繰入		
物 件 費		191,770
教 宣 費	3,260	
事 務 用 品 費	129,600	
器 具 消 耗 品 費	10,660	
租 税 公 課	2,920	
涉 外 費	3,000	
車 輛 費	5,430	
広 告 宣 伝 費	36,800	
運 輸 通 信 費		
諸 会 議 費		
旅 費 交 通 費		
雜 費	100	

2
9
5
0
6

7、監査報告書

岩手県消費者信用生活協同組合の昭和44年度末監査を実施したので意見を付して報告する。

1、目的 事業年度の財産及び業務執行の監査

2、日時 昭和45年5月13日

3、場所 盛岡市菜園二丁目労済会館

4、監査報告

1、貸借対照表、損益計算書

ロ、現金、預金

ハ、伝票、帳簿

ニ、決算書類

5、所見

1、事業計画と実践

1) 事業計画に比し実績168%は良好である。

2) 組合員の拡大運動について努力の跡がみとめられる。

3) 貸付審査は適正に行われている。

4) 貸付の管理回収について努力の跡がみられるが延滞皆無にする一層の努力を望む。

ロ、財務に関する事項

1) 現金出納は適正かつ確実に保管されている。

2) 起票、記帳は正確に行われ諸帳簿、伝票、証拠書類は適正に保管されている。

3) 貸借対照表に示めされた計数は正確であり適正に保管されている。

4) 損益計算書 事業収入について良好と認める。

以上監査の結果について所見をのべたが適切に運営され良好であることを認める。

昭和45年5月16日

以上

監事 工藤秀雄

長 山吉志

岩手県消費者信用生活協同組合

理事長 渡辺長福 殿

第 2 号 議 案

昭和 4 5 年 度 事 業 計 画 並 び に 収 支 予 算 案 承 認 の 件

大型消費時代の進展に伴い、あらゆる面で生活改善も進んでおり、消費ブーム、レジャーブームの波に乗せられ一般勤労者の所得が消費に追いつかない状況にあるとき生活資金貸出を主体とした、当組合の利用者も益々増加を通るものと思われま

す。今期は下記のような事業方針で拡大発展を計りながら健全運営を推進いたします。

(1) 貸出金の規模

貸付金の平均残高を 5 千万円と設定し、この計画を達成するため今後とくに大巾な伸びが予想される無担保信用貸付と不動産担保貸付の P R に努めます。

(2) 収支計画

貸付金の平的残高を 5 千万円とします。この貸付金の利息収入を 750 万円 (約 15%) とし、その他 29 万円で合計 778 万円収益予算を計上しました。又、これ等の事業を達成するための借入金利息ほか支出合計を 766 万円としました。差引 12 万円の剰余金を計上し自己資本積立を重ねて健全な運営を計ります。

(3) 岩手県労働者共済生協購買部との業務提携

民間商社がすでに実践し成果をおさめている信販部門に関するクレジット方式を、岩手労働者共済生協購買部との間にとりかわし、集金制度の吸収並びに販売アフター管理制度等を業務提携していきます。

(4) 岩手労働者旅行会との業務提携について

今期は岩手労働者旅行会と業務の提携を行い、組合員に対する (国内、海外) 旅行費用の貸付をはじめとして旅行に関する一切の世話役活動をすすめます。

(5) 出資増強運動について

今期は出資増強運動年間とし、4,000口、200万円を目標とします。

付

一層

管さ

る。

を認

(6) 労済会館の入館について

岩手労済生協において計画中の労済会館竣工時には、現在の事務所よりテナント第1号として入館します。

昭和45年度収支予算書

自 45.4.1
至 46.3.31

支出の部			利益の部		
科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
人件費	2,025,000		受取利息	7,500,000	
役員報酬	600,000	4.5万X12			
職員給料	840,000	2.5万X12			
職員諸手当	455,000	4.5万X6.5	雑収入	30,000	
法定福利費	70,000	2.5万X6.5			
厚生福利費	10,000		貸倒引当金戻入	254,259	
退職給付金繰入	50,000				
物件費	1,237,000				
広告宣伝費	200,000	ポスター外			
渉外費	20,000	刊行物			
事務用品費	5,000				
器具消耗品費	5,000				
減価償却費	10,000	什期備品償却			
調査研究費	20,000				
租税公課	40,000				
旅費交通費	60,000				
運輸通信費	60,000				
事務所費	25,000				
雑費	20,000				
諸会議費	20,000				
地代家賃	720,000	6万X12			
教宣費	20,000				
雑給	12,000				
支払利息	3,650,000	平残 002 5千万 X			
貸倒引当金繰入	750,000	100			
当期剰余金	122,259	貸付5千万 X 15 1000			
合計	7,784,259		合計	7,784,259	

第 3 号 議 案

より

貸付業務方法一部変更承認の件

本年度事業計画に基き次のとおり貸付業務方法書を一部変更します。尚、これらの取扱いについては字句修正をふくめ理事会に一任願います。

(旧)	(新)
<p>第 4 条 この組合が同一組合員に対して行なう貸付基準は次の通りとする。</p> <p>(1)無担保信用貸付 組合員の月収額以内で最高 6 万円以内とする。</p> <p>(2)事業所保証信用貸付 組合員の月収額以内若しくは退職金受領見込額以内であつて最高 10 万円以内とする。</p> <p>(3)有価証券担保貸付 国債、公社債、地方債、銀行株券の時価評価額の 70 % 以内で最高 20 万円以内とす。</p> <p>(4)不動産担保貸付 固定資産税評価額若しくは時価評価額の 70 % 以内で最高 50 万円以内とす。</p> <p>第 7 条 貸付期間又は貸付金額に応じて保証人を立てるものとする。</p> <p>(1)無担保信用貸付 借主と同等以上の収入のある連帯保証人 2 名</p>	<p>第 4 条 (現 行、 条 文 と 同 じ)</p> <p>(1)無担保信用貸付 組合員の月収の 2 倍以内で最高 10 万円以内とする。</p> <p>(2)事業所保証信用貸付 組合員の月収の 2 倍以内もしくは退職金受領見込額以内であつて最高 20 万円以内とす。</p> <p>(3)有価証券担保貸付 国債、公社債、地方債、銀行株券の時価評価額の 70 % 以内で最高 100 万円以内とす。</p> <p>(4)不動産担保貸付 固定資産税評価額もしくは時価評価額の 70 % 以内とする。</p> <p>第 7 条 (現 行 条 文 と 同 じ)</p> <p>(1)無担保信用貸付 借主と同等以上の収入のある連帯保証人 2 名、但し、貸付金額が 3 万円以内の場合は 1 名とすることができる。</p>

要

第 4 号議案 労働金庫加入手続承認の件

岩手労働金庫に加入手続をとります。

第 5 号議案 借入金の最高限度並借入先承認の件

昭和 45 年度事業計画に基づき借入金の最高限度額を 1 億円とし、借入先を岩手労働金庫、岩手銀行、盛岡信用金庫、財団法人泉民共済会とします。

第 6 号議案 役員改選の件

定款 30 条の規定により本日の総会終了と同時に全理事、監事の任期が満了するので改選します。

役員及び職員名簿

役職名	氏名	住所
理事長	渡辺長福	盛岡市上米内字畑 84
副理事長	四戸好美	、 上田字黒石野平 67
専務理事	葦沢元一	、 青山一丁目 21 の 4
理 事	本間 嵩	紫波郡紫波町遠山字大橋 3 の 1
、	熊谷碩二	、 矢巾町大字上矢沢 6 地割 13
、	川原 寛	盛岡市仙北二丁目 28 の 45
、	小原 円治	北上市二子町字宿表 16
、	岡村江助	盛岡市中川町 1 の 54
、	村井佑吉	、 高松二丁目 27 の 68
、	高橋 登	、 新庄字新田 47
監 事	長山吉志	花巻市四日町三丁目 7 の 72
、	工藤秀雄	盛岡市上田二丁目 4 の 5

業務課 阿部盛男、中川由美子 (2名岩手労済より)